

労働新法に對する件

機關は我々に取つて重用あるものであ。教育に、連綿統一で、アゲ
 アロにその役割は偉大なる者である。今労働新法が論評議会の機關紙と
 して日一回発行される。だが我々には此の積極的支持態度により日二回
 三回、進んで日刊にまで進めかければからかひ。そして此のほんと
 に全回の大権偉あるものにしかければからかひ。
 実行方法として、各分會に本部の機關紙と連絡を密接に取つて
 勿念に機關紙係を設置し、定期的にレポートを送り、配布網を確立する
 事に努力する事。

時給制度請願制度撤廃に對する件

資本家階級は巧妙たる手段で労働条件改善をやつてくる。其の一つが
 時給制度である産業の合理化を行ひ労働の強化を行ひ時間の短縮をやり
 収入の減少を来せし能率は以前より上げて居る。又他の一つに請願制度
 がある。賃金を次第に低下せし、収入を減じ、ピロドワ的に労働強化を

やり失業軍の増大をして居る。此は今新らしく行かれば川るブイドル
 システムに止すべき首で、労働者は徹底的に反対し斗争しかければ
 うち
 実行方法として、時給制請願制の本質不当を不斷にベクロし斗争面に
 此が反対をやる。と同時に週制の獲得、最低賃銀制の獲得、七
 時間労働制の獲得斗争を行ふ事。

解雇銀値下げに對する件

今や資本家階級は反動期で中心し資本主義をくひとめんとして産業合
 理化政策を政府と協力の下に遂行して居る言ふまで、かく彼奴等に依つ
 て行かば川る産業合理化は更に我々労働階級を犠牲に促する事にゆつて
 の及び得る者である必然的に彼奴等は、首切、賃銀値下げを遂行す
 る然るに國家権力機関の下に、我々は断じてかゝる産業合理化政策の
 物碎を期し、あくまで首切反対、賃銀値下げ反対の斗争をまき起し徹底
 的に闘ふ。
 中心スローガン、 敵首賃銀値下げ絶対反対